

源河川の 生き物調べ



源河小学校 全児童

(2年) 具志堅大

(4年) 宮城涼・宮城恵輝・豊里友優・新城美波・具志堅涼・大城夢架

(5年) 沼倉賢伸・幸地輝空・真栄田義純・宮城萌・名護クリスティナ優

(6年) 宮城一也・宮城優清・新里慶太・小橋川陽智・比嘉海夢・伊波瑞希・島袋麗紋・親川涼・
真栄田香鈴・大城磨理奈

1. 目的・動機

(1) 目的

- ①リュウキュウアユの一生・・・調べもの
インターネット, 本など
- ②リュウキュウアユの歴史
インターネット, 聞き取り
- ③リュウキュウアユの住みやすい環境
現地調査 (水質), 水の温度 (過去のデータから)
- ④源河川にどんな生き物がいるか。
現地調査

(2) 動機

- ①毎年リュウキュウアユを放流してなかなか帰ってこなかったから。
- ②リュウキュウアユの移り変わり。(数が減ってきているから)
- ③リュウキュウアユが住める環境。(数が減ってきているから)
- ④源河川にいる魚の種類
最近だんだんきれいになっている源河川の生き物の状態を, リュウキュウアユや他の生き物を通して調べてみたいと思いました。

2. 方法・内容

(1) リュウキュウアユ調査：リュウキュウアユの生態や移り変わりを調べる。

①



インターネットなどで調べました。

②



源河川の水質を調べました。

③



アユに詳しい人にインタビューしました。

(2) 他の生き物調査：月に一回下流で採集調査をしました。

①



採集

②

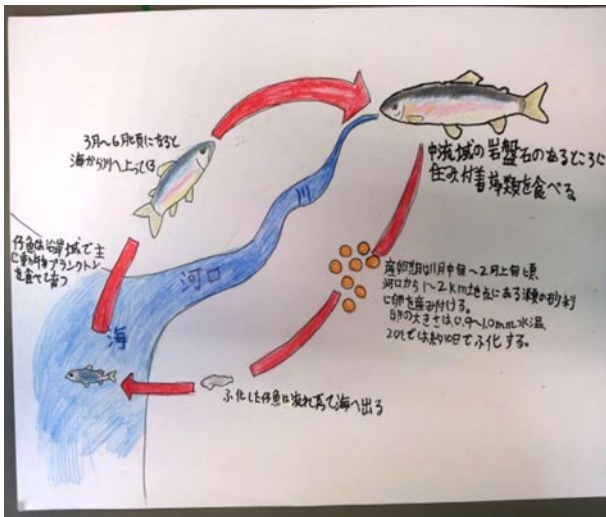


記録

3. 結果

(1) リュウキュウアユ調査

①アユの一生



②アユの住みやすい水質

- ・CODが17ppm以下だとアユは住むことができない。
- ・平成24年12月19日現在8ppm →現在の源河川はアユが住める。



③アユの移り変わり

| 年 | できごと |
|---------|--|
| 1960年以前 | アユはたくさんいた |
| 1978年 | 源河川のアユが絶滅 川がよごれてくる |
| 1988年 | リュウキュウアユが新種になった 川をきれいにする運動 |
| 1990年 | 「アユセンター」放流開始 |
| 2012年 | 現在は沖縄美ら海水族館が放流 わたしたちは源河川に住むリュウキュウアユを観察した。 産卵もしていたようです。 |



リュウキュウアユ

(2) 他の生き物調査

5回の現地調査で、魚8種類、甲かく類2種類、両生類1種類が確認できた。

(全部で389匹)

図1：主な生き物の採れた数

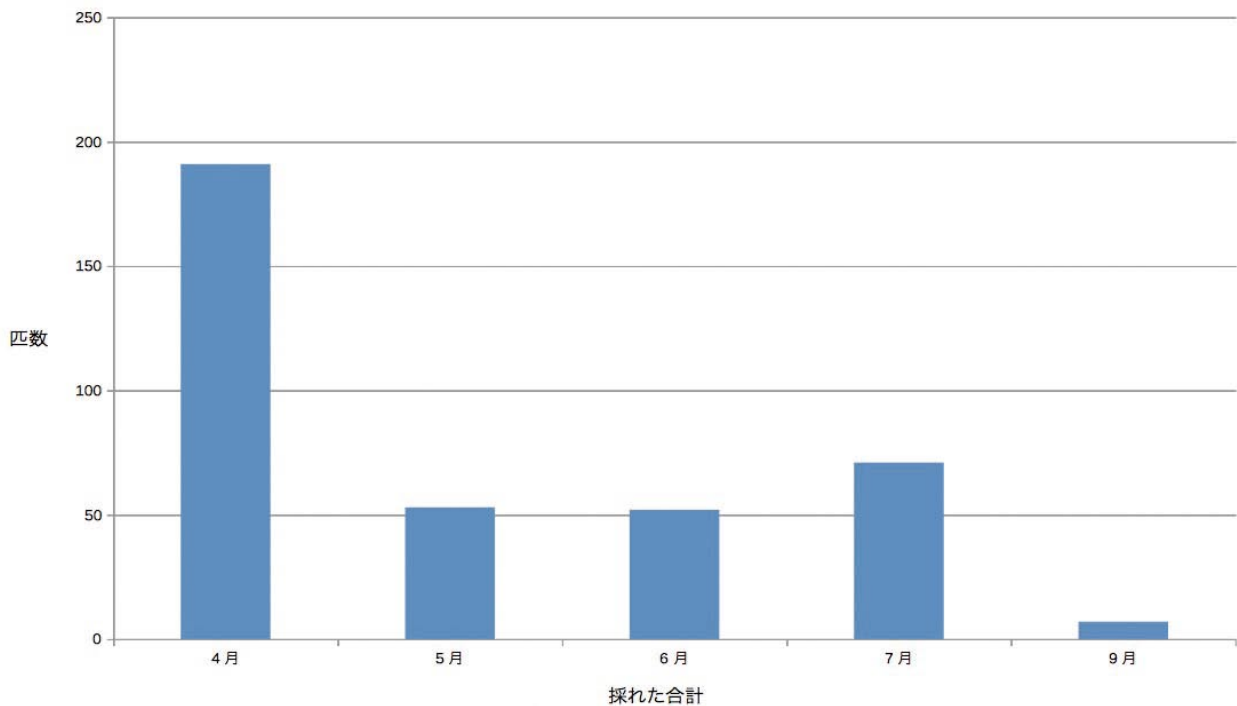
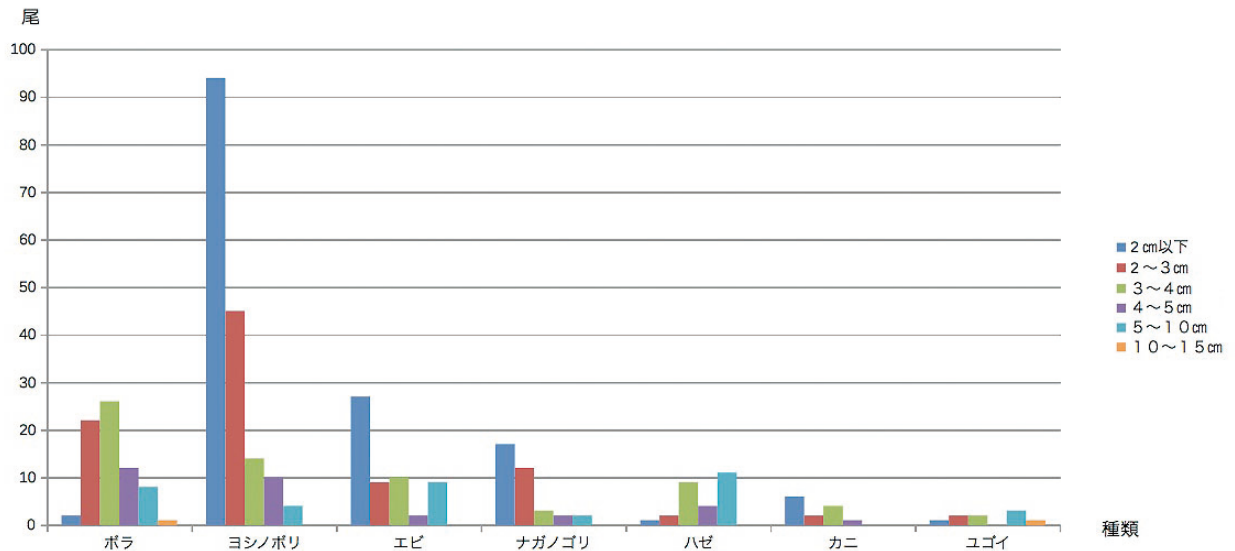


図2：採れた数の移り変わり

- ヨシノボリが多い。
- 次にボラが多い。
- 採れた数は4月が最も多い。
- 4月は特に小さいヨシノボリが多い。→1月はヨシノボリが川に上ってくる。
- 5月にはリュウキュウアユ（5～10cm）も一匹確認できました。

現地調査・採集活動風景



4. 感想

- ①自分たちが調べてきたリュウキュウアユのこの結果が出てよかったです。
- ②10月には5・6年生でリュウキュウアユも見ることができたのでよかったです。島福さんにインタビューもしてきてアユのことがたくさんわかってよかった。これからは、源河川をきれいにしてリュウキュウアユを復元できるようにがんばりたいです。
- ③やはり、ずっとしている川の清掃や稚魚の放流を通して、たくさんのリュウキュウアユの住めるきれいな源河川にしたいなと思いました。
- ④月に一回源河川に行って、月ごとに数が減っていているのがわかった。源河川にいろいろな魚がいて、その中にめずらしい魚も捕ることができてよかったです。

